

# 北九州市民の会ニュース

## 福岡県労連評議員会が開かれました

2月1日(土)10時から福岡市第3偕成ビル4階会議室で、第71回福岡県労連評議員会が開かれました。評議員会は、第1部は組織拡大学習会。全労連黒澤事務局次長による「サンベツと地域ローカル帯の組織活動」と題して、たたかいの中での組織拡大についてわかりやすく話してくれました。第2部は13時開会の第71回評議員会。新しい組合金融ユニオンの新規加入が満場一致で認められ、2019年春闘方針、福岡県知事選挙などの議案について熱心に協議されました。福岡県知事選挙方針案は、すべての加盟組合が一致して取り組めるような合意をえるため、さらに協議を続け2月末の加盟組合代表者会議で確認・決定することになりました。その他の議案はすべて満場一致で採択確認されました。山下議長の音頭で団結して頑張ろうと決意を固めあいました。(堀田和夫氏FBより)



## 国保滞納・差し押さえ学習会が開かれました

2月3日(日)、福岡センタービル会議室(福岡市)において中央社会保障推進協議会主催の国保滞納・差し押さえ学習会が開かれました。北九社保協や健和会、民商など北九州市内からの参加を含め、関西から九州・沖縄まで111名が参加しました。

学習会では、「国保の成り立ちから県単位化まで」を池田和彦氏(筑紫女学院大学)が、「国保料(税)と差し押さえ問題」を国嶋洋伸氏(福岡南法律事務所)がわかりやすく講演し、続いて仲道宗弘氏(滞納処分問題全国対策会議・司法書士)が「鹿児島県垂水市で起きた児童扶養手当違法差押事件」を特別報告したのち各地から報告がありました。

国保は公的な地域健康保険制度です。制度発足時の農漁民中心の加入者構成から今日無業者や不安定雇用の増加へと構成が変化するなかで、



保険料滞納者の増加と自治体による保険証取り上げ、一律的一方的な差押処分などが全国的な問題になっています。滞納処分の自治体による差し押さえは、滞納者の預金や給与・年金、不動産などに対して行われます。学習会では、児童手当・児童扶養手当や給与・年金が全額差し押さえられた事例やそれらを違法とする法律や判例、各地の運動が紹介されました。

## 市長選挙、ご苦労さんでした！ 「笑顔と希望の会」総括会議

2月5日(火)、「笑顔と希望の会」が第6回拡大幹事会を開催し北九州市長選挙の闘いを総括しました。闘い終えた永田浩一さんが、選挙戦を振り返って、感動的なシーンを織り込みながら冒頭あいさつ。市民の生活と福祉を守り向上させていくために、これからも全力でとりくんでいきたいと決意を語られました。石田市議団長が市長選の結果と経過、北橋市政の12年間と二つの争点、闘いの評価と教訓について総括的な報告をしました。多くの意見・討論をまとめ以下のような諸項目が確認・合意されました。

- 市長候補を早く決定することが必須の課題である。
- 市民の会、区民の会を日常的な市民運動として取り組み広めていくことが大切である。
- 市政を学び、市民、区民の日常的な要求実現の運動にしていく。
- 区民の会を中心に、住民自治による各区の街づくりを起こしていく。
- SNSを活用した、新しい市民運動・広報活動を検討していく。

「笑顔と希望の北九州市をつくる会」は、5月中旬以降に第7回幹事会を開催し、財政報告と会の在り方を決定することになりました。

平和とくらしを守る北九州市民の会  
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F  
TEL093-592-5000 FAX093-571-4346  
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>  
e-mail;koe@siminnokai.com

## 春闘共闘連絡会が総会&学習会

北九州春闘共闘連絡会（議長永富雅生）は、2月8日（金）18時30分から戸畑生涯学習センターで、2019年春闘方針を決める春闘共闘連絡会総会&学習会を開きました。総会&学習会は、エフコープ生協労組のながた副委員長の開会あいさつに始まり、議長選出の後、永富議長挨拶、来賓として福岡県労連隈本副議長、大石日本共産党小倉北区議候補が力強く挨拶。学習会では、竹下武全労連常任幹事が60分間講演。2019年国民春闘共闘委員会の春闘についてわかりやすく話してくれました。2019年春闘のたたかう方針に確信をもって頑張る決意を固めあうことができました。議案の提案は、堀田春闘共闘事務局長が行い、全教北九州、北九市職労、健和会労組、福建労北九州支部、国労北九州地区本部、5組合の代表から2019年春闘をた



たかい課題や要求などについて発言があり、すべての議案は満場一致で確認されました。永富議長の音頭で、2019年春闘頑張る決意をこぶしに込めて「ガンバロウ！」を三唱しました。（堀田和夫氏FBより）

## 野依勇武さんが渾身の講話

2月11日（月）、建国記念の日。若松市民会館で「建国記念の日」を考える集いが開催されました。90歳になられた野依先生の講話だけに、神奈川大学教授や他区からも多数が参加、会場はいっぱい。「改元・戦争 今だから残しておきたいこと」を語りました。1929年生まれ、日本が戦争一色の時、青少年時代を若松で過ごす。若松空襲の悲惨な体験と皇国史観、侵略戦争の理不尽さを暴いた。戦争の残酷さを語っただけではなかった。戦時下でたくましく庶民の力で命を守り闘った人間賛歌を語った。反戦平和を貫いた野依勇武の不屈の生き方を、これからも語り続けてほしい



## 脱原発 戸畑の会が署名活動

寒かったです。戸畑駅前12時半～。1時ごろからマイクを握りました。チェルノブイリ

の子どもたちへの悲劇が福島で繰り返されていること。原発は、いのちを考えたとき要らない、むしろ無くさなければならないこと。原発のない日本を子どもたちに残したいこと-----。10分間でしたが、空気が冷たくて体が冷えてしまいました。6人立って45分間で41筆あつまりました。若い6人連れの署名が嬉しかったです。祭日でスーツすがたが少なく、どちらかと言えば細身の中年以上のラフな服装の男性が多く署名してくれました。目が悪くて、手が痛くて書けなくてごめんなさい、とすまなそうに仰る方も。代筆はだめなのでしょうか。若い女性の署名は、皆無です。ウエル戸畑でピアノの発表会でしょう、親子連れも署名してくださる方は皆無でした。（鋤塚聡子さんFBより）



## 志位和夫さんを迎え、日本共産党演説会

2月16日（土）、日本共産党県委員会は、志位和夫委員長を迎え演説会を開催、北九州ソレイユホールは満席になった。統一地方選・参議院選の県下予定候補が勢ぞろい。仁比そうへい（参議員）・かわの祥子（福岡選挙区予定候補）・たかせ菜穂子（県議員）氏が代表してあいさつした後、志位さんが登壇。国会論戦の焦点と野党共闘の前進、政治変革の展望を熱く語りました。



## さよなら原発、金曜行動が333回を継続

2月15日（金）、「さよなら原発！北九州連絡会」は、この日333回目の金曜行動をしました。寒い小雨交じりで、参加者は、やや少なかったです。金曜行動の後、「さよなら原発3.10北九州集会」第2回実行委員会を開催。集会開催要領を決めました。



3月10日（日）勝山公園12：50開会～14：25閉会 14：30～デモ行進 13：00～13：30 「おしどりマコ・ケン」脱原発ライブステージ

--	--	--